

熊本大学基金

年間報告書 2025

Kumamoto University Fund
Annual Report 2025

ごあいさつ



地域と世界に開かれ、共創を通じて 社会に貢献する教育拠点大学

学長 小川久雄

日頃より熊本大学への温かいご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

熊本大学は、明治20年(1887年)の第五高等学校創立以来、赤門や五高記念館に刻まれた深い歴史と伝統を礎に、「地域と世界に開かれた教育研究拠点」として変革を進めております。

令和6年度に情報融合学環及び工学部半導体デバイス工学課程、令和8年度には文理融合のカリキュラムで地域・国際社会の課題解決や社会イノベーションを担う人材を育成する「共創学環」を設置しました。文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」採択を契機に、半導体を通じた産学共創を加速するとともに、大学病院を中心に高度医療と地域医療連携を推進し、命を支える医療人材の養成にも力を注いでいます。

未来を担う学生たちの可能性をさらに広げ、地域・国際社会に貢献し続けるには、何よりも皆様との「共創」が不可欠です。

明治20年創立の伝統を守りつつ、これからも熊本大学が地域と世界に必要とされる存在であり続けるよう、どうか変わらぬご支援とご声援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



高まる大学基金の重要性

理事・副学長 大谷 順

平素より熊本大学基金に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本基金は現在、奨学金、国際交流、研究支援に加え、地域課題解決プロジェクト、医療の充実、環境整備などにも活用され、学生・教職員の大きな力となっています。

社会経済状況が大きく変化する中、寄附による多様な資金調達の仕組み—いわゆる「寄附エコシステム」の構築が一層重要視されています。

欧米の大学では、卒業生や企業が主体となり、年次寄附や卒業年度ごとのクラスギフト、エンドウメント、さらには生前贈与・遺贈寄附など、多層的な寄附モデルを企業のマッチングギフトや大規模キャンペーンと組み合わせ、安定的な資金基盤を築いてきました。こうした「寄附エコシステム」の仕組みが、教育・研究の革新やキャンパス拡張、社会実装型プロジェクトの推進を可能にしています。

このような先進事例に学びながら、国の支援だけでは補えない教育・研究投資を、卒業生や企業、地域の皆様とともに支え合う新しいモデルとして、私たちも取り組みを強化できればと考えております。

今後とも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

熊本大学基金実績

熊本大学基金は、知の創造、継承及び発展を通じて豊かな未来を拓くため、熊本大学の財政基盤の強化を図り、教育、研究、社会貢献等に関する活動の推進及び教育研究環境の整備・充実に資することを目的として、平成19年(2007年)に設立されました。これまで多くの皆様からご支援を賜り、奨学金、留学支援、課外活動支援、学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただきました。

今後も皆様から頂戴した貴重なご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業などを通じて、熊本大学の教育・研究環境の更なる改善・発展に活用させていただきます。

令和7年度は、個人**1079**名、**90**法人・団体より
総額 **308,972,637**円のご寄附を頂戴しました。

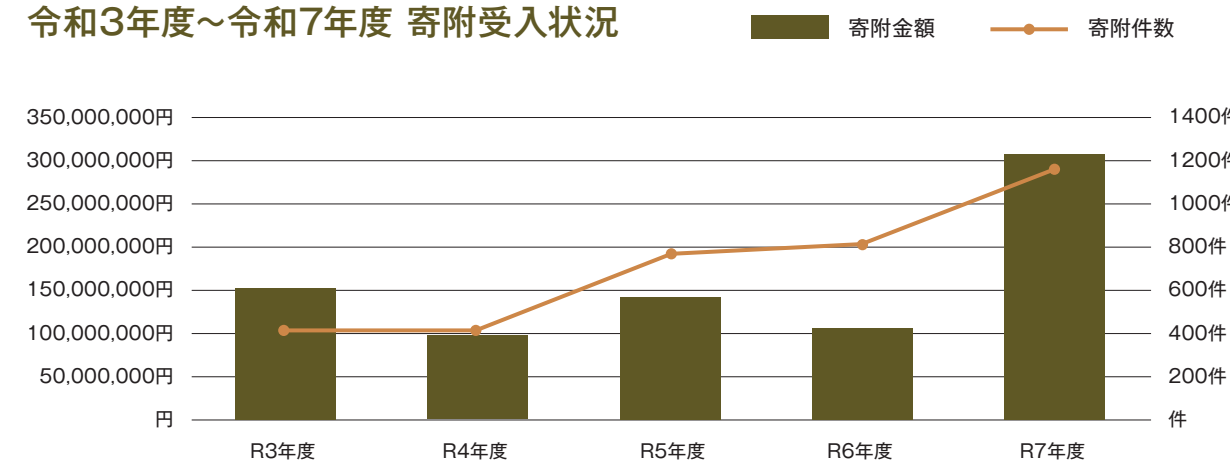
一般資金	696件	251,158,078円
特定資金※	473件	57,814,559円
寄附総額	1169件	308,972,637円

※使途を特定した寄附金

寄附累計額

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1,706,783,633円	1,804,958,554円	1,948,043,979円	2,054,824,803円	2,363,797,440円

令和3年度～令和7年度 寄附受入状況



	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
寄附金額	152,236,527円	98,174,921円	143,085,425円	106,780,824円	308,972,637円
寄附件数	421件	425件	777件	809件	1169件

使途を特定しない寄附（全ての事業 一般資金）

大学全体を支援されたい方、使途を大学に一任していただける方向け

なぜ「使途一任」のご寄附が必要なのか

学術研究や教育の現場は、常に進化し続けています。学生への新たな支援の必要性や予期せぬ研究課題の発生など、その時々で最も必要とされる資金は常に変動しています。

使途を特定の分野に限定しないご寄附は、変化に柔軟に対応し、その時点で最も喫緊の課題に資金を充てることができます。

例えば、以下のような用途に、皆様からのご支援を活かさせていただきます。

未来を切り拓く学生のために

●奨学制度の充実

経済的な困難を抱える学生が、安心して学業に専念できる環境を整えます。

●教育施設・福利厚生施設の充実

最新の学習設備を備えた教室や、快適に過ごせる施設整備を進めます。

●海外留学支援

世界に羽ばたきたいと願う学生の挑戦を後押しします。

●課外活動の支援

学生の自主的な研究やサークル活動などを通して、人間的な成長をサポートします。

世界レベルの研究支援

●最先端の研究設備・機器の導入

最新の実験機器や解析装置の導入・維持管理に充当し、研究のスピードと精度を向上させます。

●若手研究者の育成・支援

若手研究者が研究に専念できる環境を整えます。海外での研究発表や共同研究を支援し、国際的なネットワークを構築する機会を提供します。

●分野横断的な大型研究プロジェクトの推進

複数の専門分野が協力して取り組む大規模な研究プロジェクトを支援します。社会が直面する複雑な課題の解決を目指します。

持続可能な未来を築く キャンパス整備

●環境整備

老朽化した施設、トイレなどの改修等の整備を実施します。また、学生・教職員が快適に過ごせるよう、環境に配慮した設備の導入やバリアフリー化を進めます。

使途を特定する寄附

全学事業

- 修学支援事業
- 附属図書館支援事業
- 永青文庫史料整備事業
- 文書館支援事業
- 五高記念館周辺環境整備事業
- 肥後未来共創基金

Pick up

修学支援事業とは

修学支援事業は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、修学に必要な経済的支援を行うことを目的としています。意欲と能力がある学生が希望する教育を受けられるよう修学支援金として活用します。対象となる事業は、次のとおりです。

- 授業料、入学科及び寄宿料の全部または一部を免除する事業
- 学資金を貸与、または支給する事業
- 学生の留学に係る費用を支援する事業
- 学生の資質を向上させることを目的として、学生を教育研究に係る業務に雇用する経費を支援する事業

優遇性の高い
税額控除が
適用できます

学部・教育部等教育研究支援事業業

- 文学部教育研究支援事業
- 法学部教育研究支援事業
- 武夫原教育・研究支援基金
- 社会文化科学教育部教育研究支援事業
- 教育学部教育研究支援事業
- 教育学部附属学校園教育支援事業
- 教育学部まじきプロジェクト事業
- 理学部教育研究支援事業
- 医学部医学科教育研究支援事業（医学教育・研究基金―くま医もん基金）
- 医学教育部教育研究支援事業（柴三郎プログラム）
- HIGOプログラム教育研究支援事業
- 医学部保健学科教育研究支援事業
- 薬学部教育研究支援事業
- 薬学部キャンパス薬草パーク事業
- 薬学部熊本ファーマバレー事業
- 工学部教育研究支援事業
- 情報融合学環教育研究支援事業
- 共創学環教育研究支援事業
- 自然科学教育部教育研究支援事業
- 発生医学研究所教育研究支援事業
- 病院診療教育研究支援事業
- 産業ナノマテリアル研究所教育研究支援事業
- くまもと水循環・減災研究教育センター教育研究支援事業
- その他事業（特定のサークル等への寄附）

紺綬褒章伝達式・感謝状贈呈式

本学の発展のために熊本大学基金に多額のご寄附を賜りました方々へ紺綬褒章伝達式並びに感謝状贈呈式を執り行いました。

※紺綬褒章は、国の褒章制度のひとつで、公益のために多額の私財を寄附した方に授与される褒章です。熊本大学は、内閣府賞勲局より紺綬褒章「公益団体」として認定を受けています。熊本大学基金にご寄附をいただき、推薦要件に合致している方について、本学から推薦させていただいております。（詳細は P20 をご覧ください）



紺綬褒章 令和7年4月30日
黒木 政秀 様

左から黒木様、小川学長



紺綬褒章 令和7年10月6日
田尻 節子 様

左から小川学長、田尻様、大谷理事



紺綬褒章 感謝状 令和7年10月20日
土井 雅雄 様

左から土井様、小川学長



感謝状 令和7年11月28日
村上 百江 様

左から大谷理事、村上様



紺綬褒章 令和7年10月31日
株式会社ダイセル 様

1列目左から、熊本大学小川学長、株式会社ダイセル小河取締役会長
2列目左から、熊本大学：速水教授、岡田教授、伊田教授、
株式会社ダイセル：塩飽取締役専務執行役員、坂野常務執行役員、両保執行役員



感謝状 令和8年2月20日
株式会社
肥後銀行 様

感謝状 令和8年2月20日
笠原 慶久 様

左から株式会社肥後銀行 笠原代表取締役頭取、小川学長

奨学金

ダイセル基金 修学支援奨学金

令和5年5月8日、株式会社ダイセルと本学は「健康、安全・安心、便利・快適・環境」の4領域で新たな価値の共創と社会実装を目的に包括連携協定を締結。令和6年10月より、化学系教育専攻と研究所が脱炭素に向けた教育プログラムを推進し、「ダイセル基金修学支援奨学金」でこれまで博士前期課程4名、博士後期課程4名の外国人留学生を支援しています。



新庄鷹義基金

富士ダイス株式会社創業者である故新庄鷹義様の人材育成への熱意とご遺志を継承し、ご令室新庄初枝様が当時代表を務められていた株式会社TSK様より、平成28年熊本地震で被災した学生への支援及び修学支援及び留学支援等に対していただいたご寄附を基に設立した冠基金です。



受給者の声

- 奨学金のおかげで経済的な負担についての心配が軽減され、日々の学習や卒業研究に集中して取り組むことができました。履修した講義、卒業研究の成績も優や秀といった良い成績を収めることができたのも集中して取り組むことができた結果であると考えております。
(理学部理学科 4年)
- 奨学金を利用し、卒業研究の核である実地調査を東京で行うことができました。熊本及び九州ではなかなか見られない好事例を分析できました。
(文学部コミュニケーション情報学科 4年)
- 教員採用試験に関する問題集や教科教育・教職全般・特別支援等、学習に必要なものを購入し勉学に励みました。おかげで、無事教員採用試験に合格することができました。
(教育学部学校教育教員養成課程 4年)
- 奨学金のご支援により、病院の就職活動期間(8月から10月)においてアルバイトの勤務日数を減らすことができ、その分、面接対策や筆記試験対策などの準備に十分な時間を確保することができました。その結果、志望先への理解を深め、万全の体制で就職活動に臨むことができました。
(医学部保健学科 4年)

JASM奨学金



令和6年3月に台湾の世界的半導体受託製造企業 Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limitedと半導体分野の研究及び人材育成における産学連携に関する協定を締結しました。この一環として、半導体分野の人材確保が喫緊の課題となる中、その将来を担う人材の育成として、「JASM奨学金」で令和6年度から大学院自然科学教育部に在籍する博士前期課程1年生のうち、半導体関連の研究に従事する学生の修学を支援しています。

医薬保健学系修士課程 修学支援奨学金

匿名寄附者のご厚意により、本学大学院博士課程(臨床研修医)及び医薬保健学系修士課程での修学を強く希望し、かつ、成績優秀な学生へ経済支援を行うことを目的として創設した本学独自の給付型奨学金制度です。

受給者の声

- 本奨学金のご支援により、生活費を補うためのアルバイトに多くの時間を割く必要がなくなり、研究活動に専念することができました。その結果、研究活動をより効率的に進めることができ、特にデータ解析においては他大学との共同研究を行うことができました。
(医学教育部 修士課程1年)
- 将来的な学会発表や論文投稿を見据え、本奨学金の一部を英会話受講料に充て英会話の受講を継続しています。研究室には留学生や海外からのインターン生が多く在籍しており、日常的に多様な背景を持つ研究者と接する環境にあります。受講以前は英語での会話に強い抵抗感がありましたが、継続的な学習を通して、現在では留学生と日常的な会話を行えるようになりました。
(医学教育部 修士課程1年)
- 物価上昇などによる経済的不安から深夜のアルバイトも検討していましたが、本奨学金により生活費の負担が軽減され、学業及び研究に充てる時間を確保することができました。またその結果、研究活動と学会発表に集中することができ、他大学の先生や学生との討論を介して研究者に不可欠である論理的思考能力及びコミュニケーション能力を高めることができました。
(薬学教育部 博士前期課程1年)

取組報告

食糧支援(食料品無償配付)

昨今の物価高騰の影響を受ける学生を支援し、安心して学業に専念できる環境を整えるため、黒髪・本荘・大江の3キャンパスで「物価高に対する学生向け食の支援事業」として食料品の無償配付を実施しました。皆さまからのご寄附及び独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)からの補助金により、当日は626名の学生に食料品を届けることができました。ご支援・ご協力を賜りました皆さまに厚く御礼申し上げます。

実施概要

- 実施期間: 令和7年12月15日、17日、19日、22日の4日間
- 事業名称: 物価高に対する学生向け食の支援事業
- 支援内容: 食料品の現物支給
- 配付対象: 熊本大学に在籍する学部生のうち、令和7年度授業料免除者で事前申込を行った学生626名

学生から寄せられた感謝の声

- 物価高騰の中、特に生活に欠かせない食費がかさみ、バイトを掛け持ちしていても苦しい状況でした。そうした中で、こういった支援は非常に助かります。
- 食費の心配が減ることで、勉強に打ち込める環境が出来ます。とてもありがたいです。
- 最近、物価も上がっており、食費の節約を日々の生活の中で課題に感じていたので、大変ありがたいです。奨学金や今回の支援の様なサポートがあると目の前の不安が一つ解消され、学業に集中する時間と心の余裕が生まれます。大切にに使わせていただきます。
- このような支援をしてくださりありがとうございます。皆様方のおかげで、研究や勉強に集中することができます。これからは自分たちが困窮している学生を支援できるように頑張ります。

第60回 熊本大学阿蘇耐久遠歩大会開催

本学体育会主催で「第60回熊本大学阿蘇耐久遠歩大会」を令和7年10月31日23時スタートで開催しました。フルコース269名、ハーフコース172名の計441名がエントリーし、うち379名が阿蘇山上広場(フルコース)又は新阿蘇大橋展望所(ハーフコース)から熊本大学の赤門までを完歩しました。初めて設けた卒業生参加枠には約30名のOB・OGが参加し、在学生とともに大会を盛り上げました。今後もこの伝統を発展させ、100回の節目を迎えられるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。



応援メッセージ

田尻 俊次 様(昭和48年法文学部卒業)
雄大な阿蘇をバックに走り、歩く楽しさを満喫してください。

大久保 秀洋 様(昭和56年工学部建築学科卒業)
今後も遠歩を継続してください。今回は遠歩参加できませんが次回以降機会があれば参加したいです。

園木 英夫 様(平成14年法学部卒業)
「秋夜の阿蘇山頂に熊大生有り」…このフレーズに心震えました。是非とも卒業生参加したかったのですが、腰痛治療中につき、参加費のつもりで心ばかりお届けさせてください。来年からも是非卒業生枠をお願いいたします。あいにくのお天気の今朝を迎えましたが、熊大生の皆さま、まずは安全第一で、全員が無事に赤門をくぐるができますよう、おいしいぜんざいにご苦労が報われますよう、心から祈念いたしております。



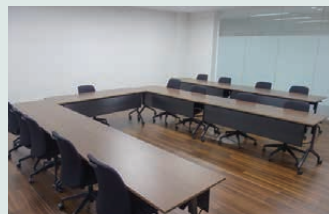
熊本大学医学部医学科は、豊かな人間性と高い倫理観を備え、医学及び関連分野における社会的使命を生涯にわたって追求し達成するとともに、変化する時代に対応できる能力を涵養し、地域にも世界にも貢献できる医師・医学者の育成に尽力しています。

平成19年(2007年)10月の創設以来、本基金より奨学金支援や白衣授与など医学生への支援を行ってまいりましたが、本基金の趣旨にご賛同いただき、ご寄附いただいた方々を末永く顕彰させていただくため、令和7年度(2025年度)に医学部においても医学総合研究棟入口に銘板を新たに設置いたしました。また、一定額以上のご寄附をいただいた方には、感謝の意として返礼品もお送りしております。



医学部保健学科教育研究支援事業

熊本大学医学部保健学科は、生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養そして高度な専門知識・技能を備え、チーム医療のスタッフとして活動し、広く社会に貢献できる資質の高い医療者・研究者・教育者の育成に努めております。



令和7年度は、令和5～7年度に実施された保健学科ABC棟改修工事により新たに設置されたイノベーションラボ2部屋に、机・椅子を購入させていただきました。その結果、イノベーションラボを授業や学生指導、入試、教育研究に関する会議等に活用することができました。

この他にも講義室の机・椅子の購入にも使用させていただきました。今後も医学部保健学科における教育研究環境の充実に向けて、取組を続けさせていただきます。

五高記念館周辺環境整備事業

国の重要文化財に指定されている五高記念館は、熊本地震からの復旧工事を経て令和4年4月に再開館し、常設展示室の整備を進めてまいりました。そして令和7年11月1日より、新たな常設展示を公開いたしました。

今回のリニューアルでは、新たに導入した展示ケースにて、五高で教師を務めたラフカディオ・ハーン(小泉八雲)や夏目漱石に関する資料を含む、約40点の所蔵資料を公開しております。また、展示室内に壁を設置し、五高の歴史や教育、学校生活、教師・卒業生について紹介するパネル30点を制作・展示いたしました。

熊本大学の誇る歴史と伝統を伝える施設として、今後も周辺環境の整備や文化財の保全活用に取り組んでまいります。



常設展示室「概説 五高と近代高等教育」(1階)



常設展示室「第五高等学校の教師と生徒」(2階)



常設展示室「第五高等学校の教育と生活」(1階) 撮影:星野雅俊

肥後未来共創基金

令和3年6月に株式会社肥後銀行と、地域の持続的発展に向け、産学連携、地域連携及び人材育成等について、相互に協力し、協働で推進することを目的に、包括連携協定を締結しました。

熊本大学—マンスフィールド財団連携プロジェクト

本協定に基づく取組の一環として、米国を拠点とする非営利財団「モーリー・アンド・マイク・マンスフィールド財団」と連携した講義を実施しています。

本講義では、来日中のマンスフィールドフェロー(米国連邦政府職員)に実務者の視点から国際情勢や政策課題について講義していただいています。令和7年度には本学の学生・教職員、地域の方々等、延べ338名の参加があり、国際社会の第一線で活躍する方々の経験に触れ、国際舞台で働くために必要な視点や学びを得る貴重な機会となりました。

また、令和7年度には熊本市国際交流会館において「マンスフィールド・カフェ」を開催し、フェローと気軽に交流できる場を設けました。延べ43名の参加があり、地域における国際理解の促進と人材交流の一層の推進が図られました。



連携講義の様子



マンスフィールド・カフェの様子

日米学生会議



集合写真



熊本大学学生パネルセッション

1934年創設の日本最古の国際的学生交流プログラム「日米学生会議(JASC)」が令和7年7月31日(木)～8月21日(木)の日程で開催されました。京都・熊本・東京を開催地とした今回は、日米合わせて72名の学生が参加、熊本開催に当たり本学の4名を含む11名が運営に携わりました。

一行は8月7日に熊本入りし、熊本地震震災ミュージアムKIOKU訪問、天草でのホームステイ、平和学習を通じ文化交流、相互理解を深めました。また、半導体による地域・大学の変化について視察や講演が行われ、最終日の8月13日には、日米参加者、地元高校生、熊本サイト企画委員によるディスカッション、政策提言ワークショップの成果発表がありました。

本学は、今後もこのような学生の国際交流活動を積極的に支援し、未来のグローバルリーダー育成に力を入れていきます。

本学学生からの感想

- 英語力の未熟さを実感した、日米参加者の学ぶ姿勢に刺激を受けた。
- 新しい視点から物事を捉えられるようになった。
- 本会議をきっかけに熊本のことを調べるようになり、発表は良い経験になった。

寄附付きグッズ

本学の谷時雄特任教授らの研究グループは、一般的な醸造酵母とは約5億年前に分岐し、二分裂で増える特徴をもつ希少酵母「分裂酵母ジャポニカス」を育種。焼酎やクラフトビールなどへの応用研究を進めてきました。

今回は、鹿児島県阿久根市の大石酒造株式会社と連携し、開発株「Kumadai M23」と鹿児島産サトウキビを用いた“酵母も原料も純国産”のラム酒「JAPONICUS RHUM AGRICOLE」を完成させました。

本製品は、令和8年2月27日(金)から熊本大学生生活協同組合及び大石酒造株式会社その他において、初回限定480本(うち熊本大学特別ラベル100本)で販売を開始しました。1本の購入につき100円が本学基金へ寄附されます。

今後もこのような企画を考えておりますので、ぜひチェックいただき、美味しさをお楽しみいただきながら、学生支援及び教育研究の推進にぜひご協力いただけますと幸いです。

大石酒造株式会社 販売サイト:<https://hal.oishishuzo.co.jp/collections/all>



熊本大学特別ラベル

Giving Campaign 2025

110 大学が参加した、学生による資金調達イベント「Giving Campaign 2025」において、多くの応援・ご支援をいただき、110 大学中7位の成績を収めました。



応援投票数 **14,803名**
寄附総額 **2,551,110円**
寄附者数 **270名**



<https://kumamoto-u.2025.giving-campaign.jp/>

1位 紫熊祭実行委員会 2,593票
2位 応援団チアリーディング部 1,594票
3位 ボート部 1,484票

Giving Campaignとは？

学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生が主体となって支援を募る日本最大級のオンラインチャリティイベントです。イベントでは、応援したい学生団体への投票に加え、応援メッセージ、支援したい団体への寄附など、様々な形で頑張る学生を応援することができます。また、期間中に獲得した「得票数」を参考に協賛企業から協賛金が分配され、いただいた寄附金とあわせて学生団体の活動費等に活用されます。



本年度も、熊本大学応援団チアリーディング部を応援して頂き、本当にありがとうございました！頂いた応援のコメントや日々の投票、励みになりました！これからも、チアリーディングを通して、元気・勇気・笑顔をお届けできるように、部員一同励んで参ります！今後ともチアリーディング部BLAZESの応援をよろしくお願い致します！

学生団体からの御礼



この度は、私たち紫熊祭実行委員会の活動に対し、皆様から温かく、力強いご支援、そして貴重な一票を投じていただきましたこと、深く感謝申し上げます。皆様から寄せられた一つひとつの応援が私たちの背中を力強く押し、「学内 第1位」という、輝かしい望外の結果を手にすることができました！皆様からいただいたこの大きな力を糧に、ご来場いただくすべての方々に最高の笑顔と感動をお届けできるよう、実行委員一同、さらに一丸となって準備を進めております。今年も、例年以上に素晴らしい紫熊祭を開催することを誓います。



この度は、Giving Campaignを通じて熊本大学ボート部へ温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。日頃より応援してくださっている皆さまをはじめ、変わらず見守ってくださるOBOGの皆さまに改めて深く御礼申し上げます。皆さまからいただいたご支援は部の活動を支える大切な礎として活用させていただきます。今後とも変わらぬご声援とご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

Giving Campaign 2026告知！！！！

今年もやります！昨年度も大好評を博した「Giving Campaign」を、下記のとおり実施いたします。本企画は、学生たちがSNS等を活用して自らの活動を全国へ発信し、資金獲得に向けて主体的に試行錯誤を重ねる挑戦の場です。みなさまからの温かいご支援とご協力を心よりお待ちしております。応援よろしくをお願いします！

期間 **2026年10月16日(金)～2026年10月25日(日)**



学生遠征費

地方予選等を勝ち抜き、熊本県外で行われる全国大会又はそれに準ずる大会に出場する団体を支援しています。2025年度に支援した団体は、以下のとおりです。

No	団体名	大会名	期間	開催地
1	サッカー部	KYFA2025シリーズ第40回九州大学サッカーリーグ	2025.5.18	国頭郡金武町(金武町フットボールセンター)
2	サッカー部	KYFA2025シリーズ第40回九州大学サッカーリーグ	2025.6.8	名護市(名護大学グラウンド)
3	アーチェリー部	第64回全日本学生アーチェリー王座決定戦	2025.6.14～6.15	静岡県掛川市(つま恋リゾート彩の郷)
4	弓道部	第37回全国大学弓道選抜大会	2025.6.29	東京都渋谷区(全日本弓道連盟中央道場、明治神宮武道場至誠館弓道場)
5	水泳部	第72回全国国公立大学選手権水泳競技大会	2025.8.6～8.8	高知市(INOUE・東京スポーツパークくろしおアリーナ)
6	体操競技部	第60回全日本学生トランポリン競技選手権大会	2025.8.22～8.24	久喜市(毎日興業アリーナ久喜)
7	陸上競技部	秩父宮杯第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会	2025.9.12～2025.9.14	京都市(たけびしスタジアム京都)
8	アーチェリー部	第63回全日本学生アーチェリー個人選手権大会	2025.9.19～2025.9.21	東京都江東区(夢の島公園アーチェリー場)
9	硬式野球部	第2回南部九州大学野球選手権大会	2025.10.7～2025.10.14	那覇市(沖縄セルラースタジアムグザンせんきんスタジアム)
10	卓球部	第91回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部ダブルス)	2025.10.21～2025.10.24	大阪府堺市(大浜だいしんアリーナ)
11	少林寺拳法部	2025年少林寺拳法全国大会	2025.11.15～2025.11.16	神奈川県横浜市(横浜武道館)
12	Higo-Pella	第14回 A cappella Spirits (アカスビEXTRA 2025～ダンス&ボーカル)	2025.11.16	東京都渋谷区(@原宿 RUIDO)
13	Higo-Pella	Colosseum League (Acappella Glaid Slam アイドル・ネタ部門)	2025.12.6	神奈川県横浜市(クイーンズスクエア横浜)
14	放送部	第42回NHK全国大学放送コンテスト(映像CM)	2025.12.6	京都市(京都市生涯学習総合センター)
15	麻雀部	第30回 青雀旗争奪学生麻雀選手権 準決勝大会	2026.3.30	東京都豊島区(日本プロ麻雀協会対局室)

サークルへのご寄附に関する御礼

映画研究部

この度は本サークルへのご寄附、誠にありがとうございます。いただいたご寄附は撮影機材の購入などに活用し、制作環境の向上に役立てています。今後より良い作品づくりに取り組み、その成果でご支援にお応えしていきます。引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。



ヨット部

この度は基金によるご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たち熊本大学ヨット部は、昨年度から部員数が増加し、これまで実施できなかった合宿活動を行うなど、徐々に活気を取り戻しております。今年度はさらに部員が増え、他大学との交流の機会にも恵まれました。この勢いを絶やすことなく、より一層日々の練習に励んでまいります。今後とも感謝の気持ちを忘れず精進してまいりますので、温かく見守っていただけますと幸いです。



応援団リーダー部

2025年度も基金への寄附ありがとうございます。皆さまの寄附のおかげで熊本大学応援団は金銭面で困窮することなくのびのびと活動出来ております。26年度には新たな新入生も入団致しましたので彼らの学ランや練習着の購入に基金の支援を充てさせていただきます。この度はありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。



本大学公認サークルとして
65団体が活動中です。
学生へのご支援を
お待ち申し上げます。



物価高騰緊急支援寄附募集キャンペーン

～ 学長御礼メッセージ ～

この度の「物価高騰緊急支援寄附募集キャンペーン」に際し、502件・総額3,644万円もの温かいご寄附と多くの応援メッセージを賜り、心より御礼申し上げます。皆さまのご支援は、厳しい社会情勢の中での教育研究の継続的発展と、学生生活の質向上に直結する基盤強化に大切に活用させていただきます。

熊本大学は、未来を担う学生たちの成長を何よりの使命とし、皆さまの「想い」を原動力に一層邁進してまいります。今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。



キャンペーン
特設ページ



キャンペーン実施概要

- 実施期間：令和7年11月12日～令和8年2月28日
- ご寄附件数：502件
- ご寄附総額：3,644万円
- ご支援いただいた皆さま：保護者、卒業生、地域の皆さま、県内外の個人の皆さま、企業・団体、教職員

ご寄附による主な活用項目

- ICT環境の整備・強化
- 安全・衛生環境の向上
- 学生への経済的支援制度の拡充
- その他教育研究基盤の強化

寄附者の皆さまからの応援メッセージの一部をご紹介します

- 長女が卒業生です。また熊本地震の時に体育館に避難させていただきました。その時学生さんやスタッフの皆さんにはとてもお世話になり助けられました。なにか恩返しと思い、少しですが寄附させていただきました。ありがとうございました。
- 今回の措置、苦渋のご決断だったかと思います。大変な時期ですが、皆さんが支え合って頑張っておられる姿は感動的で素晴らしいと思いました。逆境の中でもきっと新しいチャンスや成長があるはずです。みんなで力を合わせれば、どんな困難も乗り越えられると信じています。
- 私は熊本出身で、貴校に子供が在籍しており、今後も国益の一端を担う教育・研究の向上と学生支援の維持に少しでも寄与できれば幸いです。
- 熊本大学は現在、半導体人材の育成強化で全国的にも注目されていると聞いています。この勢いで半導体だけでなく、様々な分野で将来の日本のリーダーを多数輩出して欲しいです。

- 子どもが熊本大学で学べることを誇りに思っております。これからも学生一人ひとりが、それぞれの目標に向かって挑戦できる大学であることを願っています。
- 未来を担う日本の学生は日本の宝です。県外の在学生の保護者ですが、熊本県は大好きです。熊本大学へ進学させて良かったと思い、少額ではありますが応援させていただきます！
- (学生) 学長先生のおっしゃる挑戦し続ける大学を学生自身としても体現していきたいと思います。
- (保護者) わずかで気持ち程度ですが有効に活用いただけたら幸いです。
- 次々に新たな挑戦を行い、イノベーションを続ける母校を誇りに思っています。熊本大学の益々の発展を祈念しております。

熊本大学クラウドファンディング

多くのご寄附・ご支援をいただき、令和7年度は以下のプロジェクトが目標金額を達成しました。

プロジェクト名

[プロジェクト掲載先] <https://readyfor.jp/projects/cbls-seitai>

医療人材育成と検査体制の強化を。 【熊本の未来を築く】感染症対策へ！

募集期間：2025年4月1日～2025年5月30日
生体情報研究センター センター長 山本 雅大

寄附総額 **3,063,000円** 寄附者数 **111名**



プロジェクト名

[プロジェクト掲載先] <https://readyfor.jp/projects/i-Scan>

血液検査でがんの早期発見・再発予測に挑戦！ 新技術の社会実装を推進

募集期間：2025年8月1日～2025年9月29日
大学院先端科学研究部 教授 中島 雄太（実施時は准教授）
大学院生命科学研究部 教授 岩槻 政晃
大学院先端科学研究部 助教 北村 裕介

寄附総額 **11,659,000円** 寄附者数 **377名**



プロジェクト名

[プロジェクト掲載先] <https://readyfor.jp/projects/ostra>

地図にない日本列島を求めて。 地球の記憶を呼び起こす大航海

募集期間：2025年12月1日～2026年1月29日
くまもと水循環・減災研究教育センター
教授 田中 源吾（実施時は准教授）

寄附総額 **1,730,000円** 寄附者数 **57名**



プロジェクト名

[プロジェクト掲載先] <https://www.glocal-cf.com/project/soleil>

触れて、感じて、学ぶ未来を ー視覚障がい児の学びを支える教材を全国へ届けたい！ 奈良での展示会出展へのご支援をー

募集期間：2025年12月1日～2026年1月31日
熊本大学工学部公認サークル
「盲学校用教材開発普及サークル Soleil（ソレイユ）」
顧問：大学院先端科学研究部 教授 小林 牧子

寄附総額 **529,000円** 寄附者数 **34名**



桑野 幸徳 様

昭和38年 理学部卒業

Web

https://yuki-kuwano.wixsite.com/mysite

63年前熊大理学部を卒業し三洋電機の研究所に勤務、新型太陽電池を発明し、世界で初めての工業化を成し遂げることができ、その後、各種の事業を担当し、同社のCEOも経験できました。これらは熊大で学んだことのおかげだと思い、感謝の気持ちで応援しています。



山田 和彦 様

昭和49年 医学部卒業
(御薬園グループ・代表)

Web

https://www.oyakuen-g.or.jp/

小川学長を先頭に母校熊本大学の大活躍を大変誇りに思います。早いもので卒業して50年以上たちました。この間、母校を通して出会った多くの友人や先輩後輩、そして大学での教えを糧に、これまで多くの皆様のご支援を得ながら地域医療・介護の発展に努めてまいりました。私たちのグループでは多くの同級生と一緒に地域ケアの充実に日々努力しています。これからもますます熊本大学が発展していくことを期待いたします。



熊本大学生協同組合

住所

〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40-1

Web

https://coop.kyushu-bauc.or.jp/kumamoto-u/index.html

熊本大学生協同組合は1967年(昭和42年)に熊本大学の学生・教職員の出資賛同により法人として設立が認可されて以来、学内での福利厚生を担っています。学生と先生方の学びを助け、キャンパスコミュニティ作りへ貢献すると同時に、大学へも経済的な協力ができるように頑張っています。



Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社

住所

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町大字原水4106番地1

Web

https://www.tsmc.com/static/japanese/careers/jasm/index.html

学生時代の自由な発想、Innovativeな研究は人生においてとても貴重な時間です。大学で育まれる多様な才能と視点に大きな期待を寄せ、寄附という形をとりました。皆様の大胆なアイデアが明日を形作ります。是非、新しい可能性を探求し、現状に挑戦してください。



医療法人杉村会 杉村病院

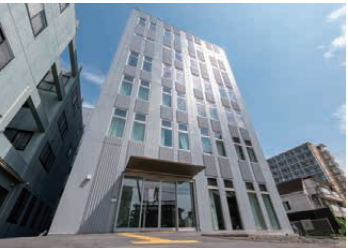
住所

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘3-7-18

Web

https://sugimurakai.jp/

当法人は本年、創立70周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。今後とも熊本大学様との連携を一層強化し、友好的な関係のもと、さらなる発展に努めてまいります。本寄附が少しでもお役立ていただければ幸いです。



葉石 真治 様

昭和46年 工学部卒業

ワンゲルは部員不足による廃部、遠歩は体育会主催で続いている由伺っていました。今回OB会経由での寄附案内、55年前が甦ります。卒部生全員参加での私はやっと3時頃の武夫原、我妻はしっかり正午に! コナクソの思い出。少しでも役立ててください。



医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

住所

〒860-0851 熊本県熊本市中央区子飼本町4-14

Web

https://www.itoh-dh.or.jp/

大学のグローバル化が進展する中で、当院は地域貢献として、今後も微力ながらご支援させていただきます。そして熊本大学が国際的に益々認知され、多くの優秀な人材を輩出されるようご祈念申し上げます。



KMバイオロジクス株式会社

住所

〒860-8568 熊本県熊本市北区大塚1-6-1

Web

https://www.kmbiologics.com/

KMバイオロジクスは熊本大学と、相互の連携による学術情報と技術の交流及び人的交流を通して、学術と科学技術の高度化を図ることを目的とした包括的連携協定を締結しています。この度の寄附が学生の皆様の一助となれば幸いです。



医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院

住所

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野185-1

Web

https://asotateno.or.jp/

熊本地震から10年。阿蘇地域医療を守るための大いなる貢献に改めて深謝申し上げます。熊本大学の更なる発展を祈念申し上げます。理事長／上村 晋一



そのだ脳神経外科消化器内科

住所

〒862-0946 熊本県熊本市東区画図町所島135-1

Web

https://www.sonoda-clinic.com/

熊本大学の更なる発展を祈念しています。小川学長、頑張ってください。後輩みんな応援しています。



大生ファミリー株式会社

住所

〒860-0031 熊本県熊本市中央区魚屋町2丁目5 サンコムビル5階

Web

https://www.taiseifamily.co.jp/

アフラックのがん保険の販売を通して、お客様へご安心をお届けしております。熊本大学病院様へは、多くのお客様が、がん治療でお世話になっております。病院運営や患者様のサポートにお役立てください。



独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

住所

〒868-8555 熊本県人吉市老神町35

Web

https://hitoyoshi.jcho.go.jp/

私共JCHO人吉医療センターに勤務する多くの医師が熊本大学医学部の卒業生であり、皆が母校の支援により将来を担う人材の育成に貢献したいという思いです。当院は今後も地域医療の向上と医療の発展に寄与する取り組みを継続していきます。院長／薬師寺 俊剛



東京エレクトロン九州株式会社

住所

〒861-1116 熊本県合志市福原1-1

Web

https://www.tel.co.jp/

学生の皆さまが大きな展望をもち学業に励まれて、熊本のみならず世界も視野に活躍されることを期待しております!



有限会社福島文隆堂

住所

〒860-0078 熊本県熊本市中央区京町1丁目2-43

熊本大学様が目指すこれからのたいへん共感しております。熊本のさらなる発展のために、教育・研究・医療分野でご活躍される学生の方々、研究機関、医療関係者様の一助になれば幸いです幸いに存じます。応援しております。



医療法人山部会 くもと成城病院

住所

〒861-8072 熊本県熊本市北区室園町10-17

Web

https://www.k-seijo.or.jp/

小川学長のもとで、熊本大学が更に大きく発展されることを期待しています。貴学の教育・研究の発展の一助となりますように微力ながら、今後も熊本大学を応援してまいります。病院長／増田 武信



株式会社ダイセル

住所

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

Web

https://www.daicel.com/

弊社は2023年に熊本大学と包括連携協定を締結し、知識と技術の融合を図ることで、新たな価値を共創し、研究、人財育成、地域連携など相互協力し、双方及び地域社会の発展に寄与することを目指しており、そのような熊本大学で学ばれる皆様の一助になれば幸いです。



堤化学株式会社

住所

〒860-0083 熊本県熊本市北区大塚2-8-6

Web

https://tsutsumi-chem.co.jp/

熊本大学のさらなる発展のためにバイオサポーターとして応援します。寄附は継続して続けていきたいと思えます。



株式会社肥後銀行

住所

〒860-8615 熊本県熊本市中央区練兵町1番地

Web

https://www.higobank.co.jp/

当行は、熊本大学との連携協定締結後、「産学官金」連携を通じて多様な取り組みを進めてまいりました。今後も学生や研究者の皆さまと共に、熊本大学及び地域全体の発展とより良い未来の創造に向けて積極的に応援してまいります。



株式会社明和不動産

住所

〒860-0804 熊本県熊本市中央区辛島町4-35

Web

https://www.meiwa.jp/

熊本大学の学生の皆さまが、未来を切り拓く力を育み、実りある学生生活を送られることを願い、本年もささやかながら寄附を継続させていただきました。夢への挑戦を心より応援しております。



株式会社琉球保安警備隊

住所

〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀1-7-5

Web

https://www.keibitai.com/

日々学びに励んでいる熊本大学生の皆さんの応援をしたく、寄附させていただきました。学べるうちに学べるだけ学んで、培った知識を活かし多岐にわたる分野でのご活躍を期待しています。



ネーミングライツ事業

熊本大学では、地域社会との連携強化及び教育研究環境のさらなる向上を目的に「ネーミングライツ事業」を実施しています。学内施設への愛称付与や企業名、ロゴ、シンボルマークなどによるサイン等の掲載を行うことで、施設の魅力を高めるとともに、大学と地域社会の双方の活性化を目指す取り組みです。現在、本事業の趣旨にご賛同いただいた15社の企業と連携し、計16箇所でのネーミングライツ事業を実施しています。(2026年3月末時点)

ひご未来図書館・HigoBank Learning Commons

施設等名 附属図書館中央館
事業期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日
パートナー 株式会社肥後銀行



東京エレクトロン イノベーションプラザ

施設等名 イノベーションプラザ
事業期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日
パートナー 東京エレクトロン九州株式会社



VOLTERS GX

施設等名 渡鹿体育館
事業期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日
パートナー 熊本バスケットボール株式会社 株式会社桜十字



KDS コミュニティプラザ

施設等名 北地区学生会館A棟
事業期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日
パートナー 株式会社KDS熊本ドライビングスクール



TKU×マイステア カフェテリア

施設等名 FORICO
事業期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日
パートナー 株式会社マイステア 株式会社テレビ熊本



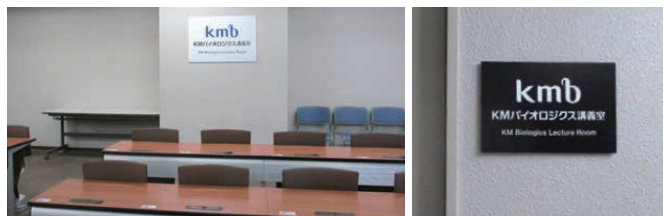
KMバイオロジクス 体育館

施設等名 大江体育館
事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日
パートナー KMバイオロジクス株式会社



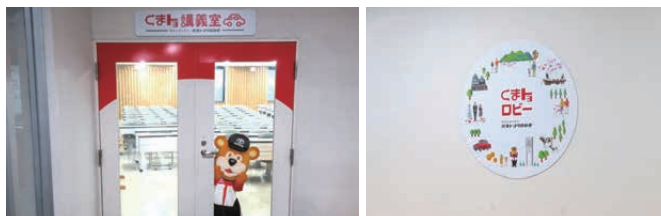
KMバイオロジクス 講義室

施設等名 医学教育図書棟(第1講義室)
事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日
パートナー KMバイオロジクス株式会社



くまトヨ講義室・くまトヨロビー

施設等名 文法学部本館(A2講義室・学生ロビー)
事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日
パートナー 熊本トヨタ自動車株式会社



熊本大学の応援団を募集しています!

施設指定型 建物について公募を実施

スペース指定型 主に建物内のスペース等について公募を実施

企業活動の宣伝や、リクルートなどPRツールの1つとして、是非ご活用ください。

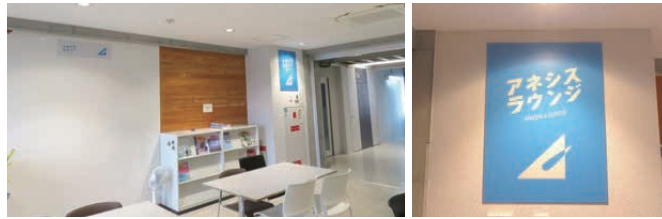


詳細は
こちら



アネシスラウンジ

施設等名 工学部1号館(リフレッシュホール6F-W・リフレッシュホール6F-E)
事業期間 令和7年3月1日～令和12年2月28日
パートナー 株式会社アネシス



アカリクラウンジ

施設等名 共用棟黒髪7(ラウンジ1・ラウンジ2・ウッドデッキ)
事業期間 令和7年3月1日～令和12年2月28日
パートナー 株式会社アカリク



くまぎん Square

施設等名 全学教育棟(D棟学生ロビー)
事業期間 令和7年7月1日～令和10年6月30日
パートナー 株式会社熊本銀行



ヒライ自習室・ヒライ ちくわサラ太くん リフレッシュルーム

施設等名 文法学部本館(法学部学生自習室・リフレッシュルーム)
事業期間 令和7年7月1日～令和10年6月30日
パートナー 株式会社ヒライ



カーボンニュートラル 学修室

施設等名 ひご未来図書館(グループ学修室1)
事業期間 令和7年10月1日～令和10年9月30日
パートナー 西部ガス熊本株式会社



学研・市進講義室

施設等名 教育学部本館(2-B講義室)
事業期間 令和7年11月1日～令和10年10月31日
パートナー 株式会社市進ホールディングス



西川計測 ソリューションプラザ

施設等名 工学部2号館(1階ホール)
事業期間 令和8年2月1日～令和13年1月31日
パートナー 西川計測株式会社



ユナイテッドトヨタ熊本 モビリティプロムナード

施設等名 病院(プロムナード)
事業期間 令和8年3月1日～令和13年2月28日
パートナー ユナイテッドトヨタ熊本株式会社



次世代へ託す「志」のバトン。 「遺贈・相続財産寄附」のご案内

—— 母校へ、若き志へ。その想いを「寄附」という形で託しませんか。 ——



学び舎で過ごしたかけがえのない日々。大学は、時代が移り変わっても、次世代の「志」が育まれる場所です。

大切に築いてこられた資産、あるいは大切な方から受け継いだ財産。それらを大学へ託すという選択は、次世代を担う学生・研究者たちの行く手を照らす光となり、まだ見ぬ未来を切り拓く道標となります。寄附者様の「想い」を大学の歴史に繋いでまいります。

2つの寄附のかたち

	① 遺贈による寄附	② 相続財産の寄附
対 象	ご自身の人生の集大成として	故人様の志をご遺族の手で
内 容	遺言書を作成し、ご自身の遺産の一部を大学へ贈ること。	故人様から受け継いだ財産を、ご遺族の意思で大学へ贈ること。
背 景	ご自身の歩みを、後輩たちの未来を照らす光に変えて。人生の集大成として、次世代へ想いを託すという選択です。	近年、故人様やご家族自身のゆかりを理由に選ばれる方が増えています。
税 制	相続税の課税対象から除外されます。	寄附した財産には相続税がかかりません。 ※申告期限内(ご逝去の翌日から10カ月以内)に申告・納付を完了する必要があります。

大まかなお手続きの流れ

1 まずは、大学へお気軽にお問合せ

制度のご説明や、どのような支援に使いたいのか、担当者がお伺いします。匿名でのご相談も可能です。

2 専門家との連携

必要に応じて、弁護士、司法書士、行政書士、信託銀行などの専門家と連携します。
(専門家による遺言書の作成や相続手続きサポート)

提携機関

ご紹介のご希望・ご質問等につきましては、当室までお問合せください。

●肥後銀行(信託コンサルティング室) ●三井住友信託銀行(熊本支店、熊本中央支店)

3 ご寄附の受領と、証明書の発行

ご寄附完了後、大学より申告に必要な「寄附金領収書」等をお送りします。

4 未来への橋渡し

あなたの想いが、教育研究費等として、次代を拓く確かな力となります。

お名前と想いを後世へ

一定額以上のご寄附をいただいた方に感謝の意を込めて、ご芳名を寄附者銘板に刻銘し、末永く顕彰します(希望者のみ)。また、奨学金、教育・研究支援、建物の建設等で一定額以上ご寄附される場合は、ご芳名を冠することができます。

寄附先に熊本大学を選ぶメリット

ご自身や
故人様の想いを
社会に永く遺せる。

母校への恩返しや
社会貢献ができる。

相続税の
節税対策ができる。

受け継がれる「志」 — 相続寄附について —

近年、故人様を偲ぶ新しいかたちとして、相続財産を大学へご寄附いただくケースが増えています。

ゆかりをつなぐ — 思い出と絆を未来へ —

- 故人様が学び、語り、挑戦を続けた場所へ——その“ゆかり”を大切に受け継ぎます。
- ご遺族様ご自身が卒業生ならではの想いを形に——母校への応援が、後輩学生たちの励みとなります。

ご寄附の事例

A様

お父様のご逝去に伴い、相続財産を本学へ寄附いただきました。お父様、ご本人様、お子様が本学のご卒業とのことで、教育研究に役立ててほしいとお気持ちを寄せていただきました。

B様

生前、いつか母校に寄附をしたいとお話されていたご主人の想いを実現したいと、大学へご相談いただきました。ご寄附後、ようやくご主人の想いを叶えることができたとおっしゃっていただきました。

※個人情報保護のため、性別等、内容の一部を変更しています。

故人様のご芳名も可能です

ご希望により、財産を残された故人様名でのご芳名や連名でのご芳名も可能です。寄附者銘板に刻銘し、末永く顕彰させていただきます。

税制メリットと透明性

- 相続税・贈与税の非課税措置で、ご遺族様のご負担を軽減しつつ、社会貢献が可能です。
- ご寄附の用途は教育・研究・施設整備など多彩に設定可能。
- 成果のご報告：年次報告書や現地視察会で、支援の成果を見える化。ご寄附の“いま”が学生や研究の現場でどう活かされているか、丁寧にお伝えします。



ひとりひとりの想いが、次世代の教育・研究を支える大きな力になります。ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

熊本大学 基金運営室(遺贈・相続寄附相談窓口)

TEL:096-342-3129 (平日8:30~17:15)

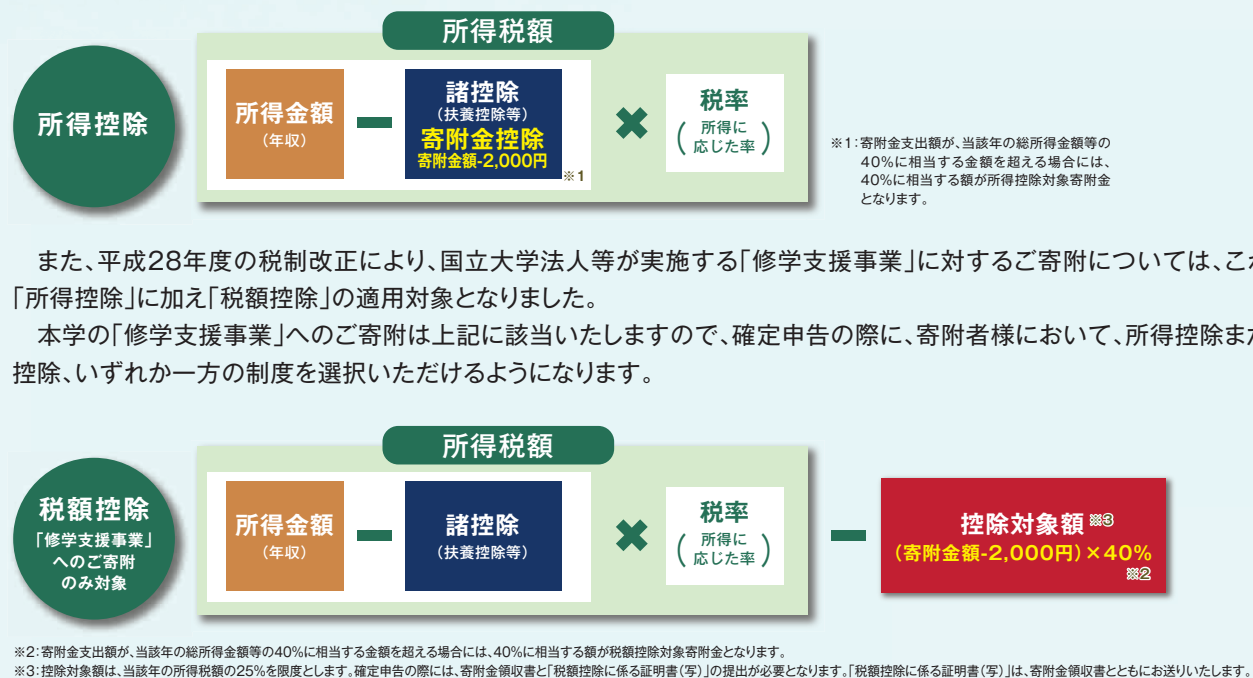
E-mail:kuma-kik@jimu.kumamoto-u.ac.jp

税制上の優遇措置

① 個人様

1. 所得税の軽減

「熊本大学基金」への寄附金については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)として財務大臣から指定されています。寄附金の額が年間合計で2千円を超える場合、確定申告をすることにより、寄附金額(総所得金額の40%が上限)から2千円を差し引いた額が課税所得から控除されます。



2. 住民税の軽減

お住まいの自治体の条例で、本学が「寄附金税額控除対象法人」に指定されている場合は、個人住民税の優遇措置が適用されます。詳細は、お住まいの都道府県及び市区町村の税窓口にお問い合わせください。

② 法人・団体様

本学は、財務大臣から、指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)の指定を受けていますので、全額を事業年度の損金に算入することができます。

ウェブサイトについて

基金に関する情報は、ウェブサイト上で随時更新しています。ご寄附の方法や各事業の詳細については、ウェブサイトでご確認ください。



ここを
click!



▲ 各事業の詳細はウェブサイトでご確認ください。

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>

ウェブサイト及び熊大広報誌掲載

熊本大学基金ウェブサイト及び季刊の大学広報誌「熊大通信」にご芳名を掲載させていただきます(掲載希望者のみ)。なお、1回あたりのご寄附が1万円以上の場合、寄附金領収書とともに「熊大通信」をお送りします。

寄附について

● 古本募金



【令和7年度実績】

- 寄附件数: 85件
- 寄附総冊数: 3,047点
- 寄附総額: 380,033円

本募金は皆様の読み終えた本や不要になったCD・DVD・ゲーム機を、大学が提携する取扱業者にお送りいただき、その売り上げを大学への寄附金として募金していただくものです。寄附金は、学生の教育活動への支援金として役立たせていただきます。皆さまの温かいご支援とご協力のおかげをもちまして、古本募金の実績は年を追うごとに着実に伸長しております。心より感謝申し上げます。

<https://www.charibon.jp/partner/kumamoto-u/>



● ご寄附の方法

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/howto/>



ウェブサイトの「寄附申込フォーム」で必要事項をご入力の上、お申しいただけます。最後の画面でお振込先が表示されますので、そちらの口座までお振り込みください。
※別途お振込の手続きが必要になります。



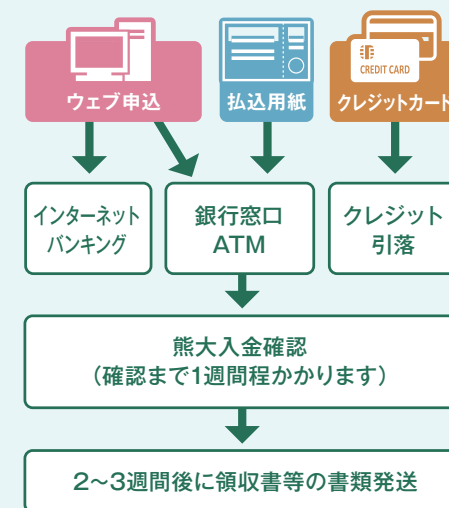
ウェブサイトから「寄附申込書」をダウンロードして記入後、郵送、FAXまたはメールでお送りください。折り返し、「払込用紙」をお送りいたします。
※ゆうちょ銀行以外でのATMからのお振込は出来ません。



ウェブサイトの「クレジットカードによるご寄附のフォーム」で必要事項をご入力の上、お申込みください。
※クレジット会社を経由するため大学への入金金は約1～1.5ヶ月後となります。



● ご寄附の流れ



【クレジットカードによるご寄附について(ご注意)】

確定申告時に必要となります「寄附金領収書」に記載する日付は大学への入金日となりますので、予めご承知ください。特に、11月～12月にクレジットカードによるご寄附をされる場合、「寄附金領収書」の日付が翌年となる場合がありますので、ご注意ください。

紺綬褒章

国の褒章制度のひとつで、公益のために私財(個人500万円以上、法人・団体1,000万円以上)を寄附した方に授与されます。熊本大学は、内閣府賞賛局より公益のために多額の私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けています。推薦要件に合致している方について、ご意向を確認の上、本学から文部科学省に申請(同省を経て内閣府へ提出)させていただきます。

● 熊本大学基金における「紺綬褒章」の推薦要件

寄附金額	個人: 500万円以上/法人・団体: 1,000万円以上
分納について	予めお申し出をいただいた場合に限り、分納も可能です。分納の期間に定めはありません。分納の場合、完納後の申請となります。
申請から受章までの流れ	熊本大学から文部科学省へ申請後、内閣府での審査を経て受章が決定します。申請から受章まで1年程度要します。

● 授与されるもの

個人					法人・団体
① 章記	② 紺綬褒章	③ 木杯(桐紋)	④ 飾版(銀)	⑤ 飾版(金)	⑥ 褒状
● ご寄附額が1,500万円以上の場合は、併せて③木杯(桐紋)が授与されます。 ● 個人で2回以上受章された場合、褒章にかえて④飾版(銀)が授与されます。この飾版(銀)が5個に達したときは、⑤飾版(金)と引き換えることができます。					

画像②～⑤ 出典:内閣府ウェブサイトより

令和7年(2025年)4月

お名前・寄附金額の掲載

219万4千円	熊本大学同窓会連合会(281.4)			
5万円以下	古賀 久恵(3)	古崎新一郎(9)	近藤 光弘(8)	
	中上 博秋(14)	松田 亨(6)	宮本 真次(13.6)	
	本島 昭男(31)	本山 敬一(4)	柳田 敏孝(16)	

お名前のみ掲載

秋吉 樹[2] 浅原百合子[5] 石井 嘉明[1] 伊藤 雅浩[2]
猪田 京子[1] 奥 輝之[4] 神山憲次郎[7] 北島 美則[16]
木村 純久[14] 草野 龍二[20] 古閑 孝之[4] 児倉 静二[22]
近藤 悠希[2] 柴山 佳夫[11] 田原春 徹[1] 中島 礼一[3]
西中村 茂[2] 抜山 雄一[1] 野口健一郎・恭子[8] 東 大志[1]
深澤 達矢[2] 二塚 信[20] 松山 鎌志[2] 三隅 将吾[2]
宮本 善雄[1] 吉永 壮佐[2] 医療法人杉村会[4] SGS株式会社[1]
株式会社ルフトテックサービス[3] KMバイオロジクス株式会社[6]
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社[2]
有限会社傳建ブランニング[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人59名、9法人・団体

令和7年(2025年)5月

お名前・寄附金額の掲載

400万円	桑野 幸徳(1122)			
10万円	宮尾千加子(51)			
5万円以下	宮本 真次(13.8)	シモダ印刷株式会社(25)		

お名前のみ掲載

荒井 澄子[13] 池田 英世[5] 市原 一也[1] 猪俣紘一郎[9]
衛藤 光明[23] 大迫 聖子[5] 奥 輝之[5] 川村 美好[1]
木村 純久[15] 楠田 靖紀[5] 島本 勝[1] 副島 修[2]
千島 英一[12] 吹上 安伸[7] 松山 鎌志[3] 森 正人[3]
吉永 壮佐[3] 株式会社WiLvvy[11] 株式会社肥後銀行[13] 株式会社久仲工建[6]
東京エレクトロン九州株式会社[10] リーブ株式会社[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人25名

令和7年(2025年)6月

お名前・寄附金額の掲載

25万円	徳淵 昭代(28)			
20万円	藤岡 明(50)			
10万円	松田 泰治(10)			
5万円以下	小貫 治朗(7.5)	眞田 功(20)	首藤 剛(10)	
	松尾 敏之(17)	宮本 真次(14.1)	渡邊 勉(8)	

お名前のみ掲載

奥 輝之[6] 小田けい子[1] 神崎 芳郎[13] 草野 龍二[21]
久米 匡[1] 倉澤剛太郎[5] 庄司 重樹[1] 高宗 俊雄[9]
立花 昭生[14] 田上将太郎[2] 徳永恵理子[1] 西川 毅[7]
波多野恭行[39] 堀野 敬[11] 本多 邦雄[16] 松井 久実[1]
宮崎 誠[1] 株式会社コーチ&リサーチ[1] 株式会社ダイセル[5]
株式会社ヒライ・コンサルタント[2] 株式会社フジタ九州支店[1]
株式会社明和不動産[4] 有限会社福島文隆堂[7]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人22名、7法人・団体

令和7年(2025年)7月

お名前・寄附金額の掲載

10万円	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社(10)			
5万円以下	福田 俊幸(12)	本多 邦雄(37)	宮本 真次(14.5)	

お名前のみ掲載

上城 洋一[8] 河村 久幸[7] 北山 洋一[6] 児倉 静二[23]
齊藤 和人[6] 戸上 勝喜[5] 中嶋 洋[1] 若林 秀樹[1]
エデュニオ株式会社[1] 株式会社秀拓[3] 株式会社琉球保安警備隊[3]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人25名、1法人・団体

令和7年(2025年)8月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	熊本大学医学部保健学科同窓会(500)			
50万円	熊本医学会(650)			
10万円	鬼ヶ原浩二(17)	清原由紀夫(122)		
5万円以下	池田 勇(11)	藤村 重利(9)	宮本 真次(14.9)	
	熊本大学医学部医学科後援会(2864)			

お名前のみ掲載

荒井 澄子[14] 猪俣紘一郎[10] 木村 英美[3] 菅坡 誠夫[3]
田村 知代[3] 遠山 栄二[4] 深田 章[3] 山田 康代[6]
熊本大学医師会[8] Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社[3]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人23名

令和7年(2025年)9月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	小林 功(100)	西田 治義(1000)		
40万円	日本中央競馬会(210)			
20万円	後藤 優太(20)			
10万円	大津敬一郎(300)	増田 武信(50)		
	熊本大学工業会熊本支部(90)			
5万円以下	大橋 茂博(3)	岡部 和利(18)	権藤 隆史(1)	
	近藤 光弘(13)	田尻 俊次(1)	中野 和夫(2)	
	宮川 淳一(1)	宮本 真次(15.4)	村上 俊樹(1.5)	
	横林 清(3)	横松 孝(2)		

お名前のみ掲載

一安 秀範[12] 川竹 成稔[1] 木山 邦博[2] 坂本 亮二[1]
篠島 直樹[3] 寺本 久雄[2] 波多野恭行[40] 旗生 康之[2]
堀池 奈月[4] 松本 真一[4] 丸野 陽一[11] 山本 政幸[5]
吉元 裕一[1] 株式会社ダイセル[6] 株式会社肥後銀行[15]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人35名、3法人・団体

令和7年(2025年)10月

お名前・寄附金額の掲載

1000万円	村上 友弘・百江・誠一(1000)			
55万円	大久保弘人(100)			
50万円	山田 和彦(280)			
	医療法人社団順幸会(53) 堤化学株式会社(1160)			
6万円	春野 政虎(6)			
5万円以下	小川 久雄(101)	宮本 真次(16)		

お名前のみ掲載

安倍 昂洋[4] 荒川 勝徳[3] 猪島 一郎[1] 河原 崇浩[1]
工藤 直樹[2] 酒井 文典[2] 眞田 功[6] 竹下 一幸[1]
中村 裕一[3] 沼田 伸一[2] 波多野恭行[41] 平岡 一男[1]
牧 明[1] 町田 博邦[1] 柳田 敏孝[20] 山下 福嘉[2]
横手 公博[4] 渡邊 圭祐[3] 医療法人相生会[2]
医療法人やない小児科クリニック[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人38名、2法人・団体

令和7年(2025年)11月

お名前・寄附金額の掲載

20万円	小川 久雄(121)			
10万円	西野 宏(40)			
5万円以下	原 正大(6)	宮本 真次(16.1)	本島 昭男(32)	

お名前のみ掲載

阿久津知美[1] 有村 忠男[1] 家村和千代[9] 猪俣裕紀洋[1]
岩下 祐介[1] 大久保秀洋[1] 岡本 哲夫[7] 甲斐 智子[1]
園木 英夫[1] 園田 寛[7] 戸塚 誠司[8] 銅倉 康文[4]
西村 洋介[2] 平田 明子[1] 福山 紳[1] 古谷 秋文[10]
榊永 幸介[1] 宮尾 尚[1] 本島 知子[3] 山本 政幸[6]
渡辺 啓子[1] 医療法人末永会[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人32名

令和7年(2025年)12月

お名前・寄附金額の掲載

264万円	熊本大学医学部医学科後援会(3128)			
20万円	近藤 翔平(20)	平井 俊範(21)		
5万円以下	大西 伸司(1)	趙 江峰(0.3)	長岡 展生(1)	
	中島 勝(2)	中牟田まりこ(2)	西原 和洋(1)	
	藤岡 明(55)	古川 憲治(35)	本郷 弘昭(2)	
	宮尾千加子(56)	宮本 真次(16.2)	村上 公輝(6)	
	本吉 大介(7)			

お名前のみ掲載

浅山 縁[2] 荒金 真史[1] 磯田 淳[1] 岩井由起子[1]
岩崎 竜之[2] 上田 一生[11] 牛島 一男[1] 江上 寛[4]
大久保 博[1] 大竹 秀幸[1] 大谷 順[4] 大平 慎一[3]
大森 雅岳[2] 岡崎美知治[15] 尾方富美代[1] 岡本 洋一[3]
奥 輝之[7] 小田 恭朗[1] 折田 頼尚[2] 織部 安裕[6]
郭 悠[2] 梶谷 直人[1] 加瀬ゆかり[1] 川口 辰哉[3]
菊田 浩一[1] 木村 裕一[1] 木山 邦博[3] 草野 龍二[22]
國武 雅司[3] 古賀とも子[1] 児倉 静二[24] 小島 駿一[1]
坂上 拓郎[1] 坂本 亮二[2] 佐々木和博[1] 佐野 利恵[1]
猿渡 慶一[2] 島 章人[1] 高松 一成[1] 高森 壽[2]
竹松 久明[1] 田崎 雅義[1] 堤 隆一郎[1] 富澤 一仁[8]
中島 誠[13] 長田 健[1] 中村 裕一[4] 名取 瑞樹[1]
西牟田康博[8] 西村 章[3] 西森 実[1] 濱田 聖子[2]
林 義智[1] 原口 洋吾[4] 久富 弘基[1] 百武 航[1]
福井 自由[1] 福島 聡[1] 堀田 勝利[1] 本田 護[1]
本田 亮太[1] 前田 昌史[1] 牧野 幸司[1] 松尾 大輔[1]
松本 聡史[1] 松本 卓也[1] 水田 博志[3] 水本 誠一[1]
峰 修二[1] 三宅 雅人[1] 村田 寛治[1] MonzoN[1]
矢野登久男[10] 矢吹 洸二[1] 山田 邦彦[1] 山本 政幸[8]
横井 秀基[1] 吉田いくこ[2] 吉村 幸一[1] 吉村 正徳[1]
内田鋼機株式会社[1] 株式会社ダイセル[7] 熊本大学泌尿器科有志一同[1]
ゲノム神経学分野有志[1] The Team[1]
大生ファミリー株式会社[1] 有限会社宇都精炭[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人141名、1法人・団体

令和8年(2026年)1月

お名前・寄附金額の掲載

500万円	笠原 慶久(500)			
200万円	清原由紀夫(322)			
100万円	黒木 政秀(900)			
30万円	甲斐 秀子(30)			
25万円	古垣 浩一(25)			
20万円	若林 秀樹(31)			
10万円	大津敬一郎(310)	淨住 護雄(50)	倉津 純一(62)	
5万円以下	阿南誠一郎(5)	鬼ヶ原浩二(20)	木下 晋介(0.5)	
	春山 康久(9)	藤本 晴香(4)	松村 均(4)	
	三浦 正毅(5)	宮本 真次(16.3)	渡邊 晶代(3)	

お名前のみ掲載

荒井 澄子[15] 荒金 太[1] 荒木 正[1] 安南 泰彦[1]
猪俣紘一郎[11] 植松 重樹[1] 上村 彰博[1] 大石栄美子[1]
大石 初藤[1] 岡島 寛[17] 奥 輝之[8] 越智 正典[1]
笠岡 俊志[2] 桐原 健寿[1] 毛井 純一[1] 神鷹 卓己[1]
讃井早智子[1] 鮫島 正裕[1] 志賀 隆行[1] 篠原 知也[2]
島田 政也[1] 新貝 雄二[1] 神力 悟[1] 妹尾 包人[2]
高野 智樹[1] 高野 義久[2] 田尻 雄大[1] 田中 久視[1]
田中 靖人[1] 田中 涼子[1] 谷口 雅浩[1] 田上 正[4]
簡 寿一[1] 徳田 正博[1] 富田 裕子[1] 中尾 秀樹[1]
長岡 克弥[1] 中島 悠希[1] 永田 雅英[1] 西川 毅[8]
西田 拓郎[1] 西村 克範[1] 馬場 秀夫[22] 早野 恵子[7]
原 秀和[1] 日比 泰造[1] 平田 直之[1] 福岡 大祐[2]
藤井 慎嗣[4] 藤木 美才[1] 藤瀬 昇[2] 牧之段 学[1]
杏尾 修一[4] 松本 達郎[1] 松本 知明[1] 宮島 哲哉[1]
宮田 辰徳[1] 宮本 健史[1] 宮本 裕士[3] 森田 康之[1]
八本幸史郎[1] 矢野 節子[1] 山口 和也[1] 山崎 友紀[1]
山本 真一[1] 吉川 晟弘[1] 熊本大学大学院消化器外科医局一同[1]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人117名、1法人・団体

令和8年(2026年)2月

お名前・寄附金額の掲載

1億円	熊本大学生生活協同組合(10000)			
100万円	人吉医療センター医局員一同(100)			
10万円	水野 吉昭(10)	後藤工業有限公司(10)		
5万円以下	市原 大裕(1)	首藤 剛(15)	富田 正郎(10.5)	
	内藤 裕(5)	新山 博亮(1)	南崎 天翔(1)	
	宮本 真次(16.4)			

お名前のみ掲載

池田知香子[1] 上村 司人[1] 内野 誠[2] 尾池 雄一[2]
大石 一[1] 大嶋 秀一[2] 大塚 芳生[1] 大林 純[2]
岡 義典[1] 岡本 敦也[1] 奥 輝之[9] 奥野 雄大[1]
金森 弓枝[1] 川口 彩[1] 川口 徹[1] 窪田 直人[1]
齋藤 靖[1] 酒匂 康孝[1] 笹木 隆詞[1] 三宮 準[1]
志賀 有[1] 島田 信也[2] 嶋永 元裕[3] 下川 泰[1]
竹屋 元裕[5] 建山 恵美[3] 築地 健次[1] 寺床 輝[1]
友瀬 信次[1] 中熊 正博[1] 長倉 祥一[1] 仲里 仁史[5]
中村正一郎[1] 中村 太志[2] 西岡 桃子[1] 西川 潤一[1]
奴賀 昌人[1] 野元 理恵[1] 波多埜裕二[1] 原田 和明[2]
布木 周作[1] 福永 浩之[1] 藤岡 将太[1] 松岡 雅雄[1]
松村 道孝[1] 三浦 里菜[1] 水上 晴美[1] 村山 伸樹[9]
守田 伸一[1] 安永純一郎[1] 尹 珖佑[1] 吉富 寛瑞[1]
吉松 慶[1] 医療法人伊東会伊東歯科口腔病院[6]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人59名、1法人・団体

令和8年(2026年)3月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	伊藤 裕子(101) 桑野 幸徳(1222)			
50万円	熊杏会(2600)			
22万円	市橋 俊文(55)			
13万円	熊本大学医学部医学科後援会(3141)			
10万円	大河内彩子(11.5) 坂本 亮二(30)			
5万円以下	宮本 真次(16.6)			

お名前のみ掲載

井 史博[1] 大坪 惟子[1] 岡村 英祐[1] 奥 輝之[10]
勝守 高士[1] 河野奈津子[2] 北 昭彦[1] 清原 英雄[2]
木脇 祐聡[1] 相良 勝郎[13] 佐田 英信[8] 重石 光弘[5]
徳永 隆裕[7] 中田 智久[1] 南家貴美代[1] 野津原誠和[1]
波多野恭行[43] 堀本 健正[1] 宮坂 篤[1] 両角 光男[10]
矢野 浩夢[1] 遊亀 千尋[1] 米丸 智浩[1]
医療法人杉村会[5] 株式会社キューネット[3] 株式会社ダイセル[8]
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社[4]
お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様
個人34名、2法人・団体

ご寄附をいただきました個人、法人・団体の皆様のご支援とご協力に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※お名前・寄附金額の公開の許可をいただいた方のみ、寄附金額別、五十音順、敬称略にて掲載させていただきます。
※()内の数字は、累計寄附金額(万円)、[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。



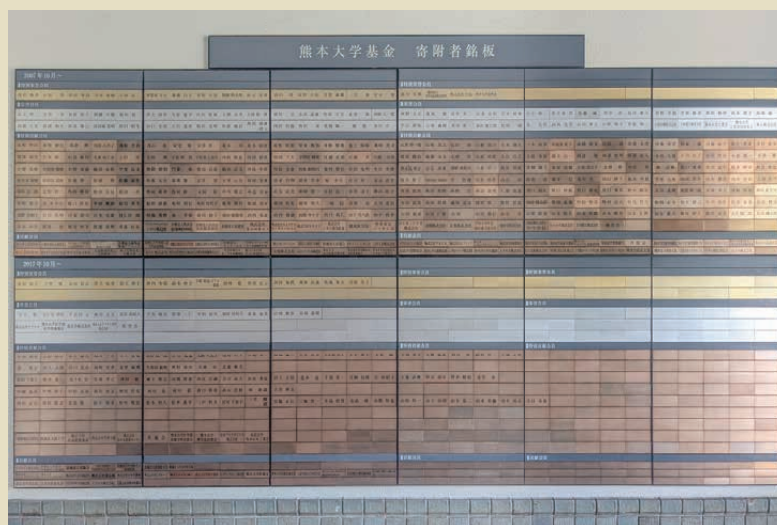
銘板による顕彰

寄附者様のご芳名を黒髪キャンパス(南地区)の本部棟玄関に設置の「熊本大学基金寄附者銘板」に刻銘し、末永く顕彰します。(希望者のみ)

なお、銘板への刻印は、寄附者様の会員資格(称号)が特別貢献会員(個人)、貢献会員(法人・団体等)以上を対象とします。

会員資格(称号)	個人		法人・団体等		プレート(イメージ)
	寄附金額(累計)	銘板の種類	寄附金額(累計)	銘板の種類	
特別栄誉会員	300万円以上	ゴールド	3,000万円以上	ゴールド	寄附者名 (個人名または法人)
栄誉会員	100万円以上	シルバー	1,000万円以上	シルバー	寄附者名 (個人名または法人)
特別貢献会員	20万円以上	ブロンズ	200万円以上	ブロンズ	寄附者名 (個人名または法人)
貢献会員	5万円以上		50万円以上	ブロンズ(小)	寄附者名 (法人・団体等)
一般会員	5万円未満		50万円未満		

※今後、上位会員資格(称号)を新設予定



本部 (旧熊本高等工業学校本館)



熊本高等工業学校本館として1924(大正13)年に竣工。文部省技師による設計。創立時は木造の洋風建築だったが、1922(大正11)年に焼失したため再建された初期の鉄筋コンクリート造りの建築である。



熊本大学基金に関するお問い合わせ

熊本大学 基金運営室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
TEL 096-342-3129 FAX 096-342-3007
E-mail kuma-kik@jimu.kumamoto-u.ac.jp
U R L <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>



最新情報をお届け
～熊大の今～

熊本大学では、令和6年4月～メールマガジンの配信を始動!!
配信をご希望の方は、是非ご登録ください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/koho/2024/20240401>

